



「善循環の輪質疑応答エッセンス集」(広報担当 大山)

「善循環の輪 埼玉南部の集いin戸田」から

◎ダイオキシン汚染土壌へのEM投入について

<質問要約>

- ① 活性液の散布は、連続して散布するのと期間を開けるのとどちらが良いですか。また季節は関係ありますか。
- ② 活性液は pH3.5 と強酸性ですが、他の生物に影響を及ぼさないのでしょうか。
- ③ 他の有害物質にも低減化効果があるのでしょうか。
- ④ 二次活性液の有効期限を教えてください。

<比嘉教授からのコメント>

- ① EM は蛍光性放線菌を活性化させ、土壌中の生態系を多様化することでダイオキシンを低減化させるので、連続でも期間を空けても散布する絶対量が多いほど効果的です。ダイオキシンは地下水位に左右されますので、降雨量の多い季節は増えてしまいます。
- ② EM に含まれる酸性物質は、クエン酸と同様に分解すると炭酸ガスと水とアルカリ物質が残ります。使用前の EM は酸性ですが、成分が分解された後は弱アルカリに変わります。レモンは pH2.5 と強い酸性ですが、食後体内でアルカリ化するのと同じ理由です。
- ③ EM が保有する抗酸化作用と非イオン化作用で有害物質の化学反応が抑制される、重金属イオンが固定化される、といった効果があります。
- ④ 2 週間を目安にすれば間違いはないですが、密封状態で保管していれば 3 ヶ月は持ちます。ただし、一度開封したら早めに使い切ってしまう。

本通信でご案内しました「東北 EM サミット」が、2月18日・19日に山形県上山温泉で開催され、U ネット事務局からは、ジャコブ萌が参加して参りました。



参加人数のべ 300 名と予想を上回る盛況で、EM 関係者だけでなく放射能の不安を抱えるお母様たちの姿も見え、本企画への関心の高さが窺えました。U ネットとしては、福島県各地に EM 培養拠点を設置し、「自前で出来る放射能対策」が多くの方に実践いただけるよう支援してきました。これら EM 培養拠点の方々と放射能の不安を抱える方たちが接する機会を得られたことは、草の根運動を盛り立てる良いきっかけになったと感じています。

←二日目のディスカッションの様子

◇◇◇◇◇ お知らせ ◇◇◇◇◇

1. 予防医学セミナーin 東京 (健康生活創造セミナー)
3月4日(日) 13時~16時半、よみうりホール (JR 有楽町駅徒歩1分)、入場無料。
主催: 「EM 友の会」事務局 【電話】052-243-3758 【Fax】052-243-3759
2. EM 活用交流会 in 牧之原 (比嘉教授講演会)
3月24日(土) 13時~16時半、総合健康福祉センター・さざんか (静岡県牧之原市)、入場無料。
お問い合わせは U ネット事務局 (03-5427-2348) まで。
3. 善循環の輪 千葉県北部の集い in 印西
3月25日(日) 10時半~17時半、東京電機大学福田ホール、入場無料。主催: U ネット